

## 平成 24 年度長岡市川口地域ふるさと創生基金事業について

事業名	魚野川親水活動促進事業
事業の内容	<p><b>【目的】</b></p> <p>川は「あぶない所」というイメージが近年、若年層を中心に浸透しつつあるが、反面、川をもっと身近に感じられるものにしようと、河川公園の整備や、川を使ったイベント等が行われるようになった。</p> <p>平成 23 年 7 月に発生した新潟・福島豪雨により、川口地域内の河川でも大きな被害を受けたが、川と親しみ、さらに川を身近に感じることができるよう、河川公園の整備やイベントの実施など住民主体の活動を行う。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川公園の整備</li> <li>・魚のつかみ取り等のイベントの実施</li> <li>・河川環境保護 PR パンフの作成</li> </ul>
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚のつかみどりにおいては、平成 23 年 7 月に発生した新潟・福島豪雨の影響で会場が被災し、とても開催できる状況ではなかったが、本事業を行ったことで、会場整備や事業に関わる物品を購入できたことで、盛大に開催でき、次年度継続につながるイベントとなった。</li> <li>・砂防堰堤に設置された魚道を使った環境保護活動では、魚道の講習や在来種の魚の放流活動を行ったことで、地域住民や首都圏から来た子どもたちに環境保護の大切さを教えられた。</li> <li>・本事業で作成した河川環境保護の PR パンフ「魚のとおり道」は、今後、川口地域の各種イベントにおいて河川環境教育に使い、川口地域の河川環境保護に対する PR にも使えるようになった。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚のつかみどり及び魚の放流活動は魚の購入資金が必要になるため、今後の資金確保が課題となっている。</li> <li>・子どもたちが安全に遊べる河川環境の整備に、今後とも学習会や川遊びなどの事業に取り組む必要がある。</li> </ul>

平成 24 年度長岡市川口地域ふるさと創生基金事業実行委員会活動状況

日 時	内 容
平成 23 年 9 月 20 日	<p>平成 24 年度長岡市川口地域ふるさと創生基金事業実行委員募集 川口支所だより 10 月号において、実行委員を募集。2 団体(川口游川の会、いきいき田麦山)が参加申込み。</p>
平成 24 年 2 月 2 日	<p>第 1 回実行委員会開催 役員の選出(委員長:川口游川の会真島松栄) (副委員長:いきいき田麦山森山実) (副委員長:川口地域委員佐藤由美子) (監事:川口地域委員水落優) 事業内容の説明 事業計画案の提出依頼</p>
3 月 6 日	<p>第 2 回実行委員会の開催 事業内容の決定</p>
4 月 22 日	<p>河川環境学習会の開催 河川工学の権威、日本大学安田教授による河川環境の学習会を開催。</p>
6 月 24 日	<p>お魚関門広場整備 魚道までの階段整備及び入口看板の設置</p>
8 月 5 日	<p>魚のつかみどり大会の開催 400 名が参加し、魚のつかみどり大会を開催。</p>
8 月 9 日	<p>魚道観察会開催 東京都狛江市や地域内の子どもたち約 50 名が参加し、日本大学安田教授の説明のもと、魚道観察会を開催。在来魚の放流も行った。</p>
9 月 30 日	<p>魚道まつりの開催 地域のスポーツイベント等と併せ、魚道まつりを開催。在来魚の放流を行った。</p>
12 月	<p>「魚のとおり道」パンフレット作成</p>

# 平成 24 年度長岡市川口地域ふるさと創生基金事業実施状況写真

## ①砂防堰堤に設置された魚道へのルート整備（6月24日）



作業風景



完成写真

## ②魚道入口への看板整備（6月24日）



作業風景

完成写真



③魚野川河川公園の整備（7月）



着手前



作業風景



完成写真

④魚のつかみどり大会（8月5日）



開始前風景



開始を待つ参加者



魚のつかみ取り風景



魚のつかみどり風景



串刺し風景



炭焼き風景

⑤魚道観察会（8月9日）



学習会風景



放流されるハヤ（ウグイ）



放流風景